知識を高め、徳性を養い、技術を磨き続けるために

夢院だより

2022.4 No.152

#KVA

CONTENTS

座談会 2

100周年、さらにその先へ
未来へつなぐ東京家政学院

家政学院のいま
TOKYO KASEIGAKUIN NEWS 8

キャンパスギャラリー 14
東京家政学院今昔写真館 16
表紙の人＆卒業生 18
入試情報 19
「東京家政学院創立100周年記念募金」のお願い 20
「アクセス募金」はじめました 20

最終ページの二次元バーコードから「アクセス募金」に参加できます。▶詳しくは20へ！

座談会

100周年、さらにその先へ

未来へつなぐ東京家政学院

当学院は2023年に創立100周年を迎えます。その記念すべき節目を前に、社会で活躍する卒業生のみなさんにお集まりいただき、学院で過ごした日々や思い出を振り返りながら、今後の学院のあるべき姿を探りました。

（2022年1月30日　本校会議室にて）

吉武理事長　本日はお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。まず自己紹介から始めたいと思います。私は2020年の7月から理事長を務めています。もともとは民間企業の出身で、ビジネスパーソンの経験があるという点で、みなさんの先輩にあたるかもしれません。

鷹野学長　大学学長の鷹野景子と申します。以前は国立の女子大で化学の教員をしており、2021年4月に本学院にまいりました。創立者の大江スミ先生がかつてその女子大で教鞭を執られていたことにご縁を感じましたし、KVA精神に

知・徳・技のKVA精神と生徒・学生の優しさはこの学院の象徴です

も感銘を受けました。こちらの学生さんは素直で優しい方ばかりだと聞いており、まさにその通りであるのを日々感じております。

安達教頭　中学・高校教頭の安達京子と申します。新卒で本校に赴任しましたので、教員歴はもう37年になり、この中では家政学院歴が一番長いかと思います。本日はよろしくお願いします。

吉武　それでは卒業生のみなさん、本校で何を学んだか、また今の仕事につながる経歴など、気楽にお話しいただければと思います。

髙橋　私は本学院に大学から入学し、現代家政学科で4年間、食文化と情報処理を中心に学びました。現在は西武信用金庫の業務企画部でまちづくり支援に携わっております。

吉武　まちづくり支援をなさっているのですね。

田村　私はこちらの中学・高校を卒業した後、明治学院大学の社会福祉学科に進みました。卒業後は株式会社ニチイ学館に入社し、今年1月から社会福祉法人奉優会に転職しました。現在は本部の企画部門で、自治体と連携しながら特別養護老人ホームやデイサービスを運営する仕事に就いています。

吉武　行政と連携して高齢者施設を企画したり、折衝にあたる仕事ですね。社会的にも必要な、やりがいのある仕事ですね。

羽田　私は大学からの入学で、町田キャンパスの児童学科で学んだ後、町田市内の幼稚園に勤務して3歳児を担当しております。働き始めて2年目で、去年までは同じ系列の保育園で1、2歳児を担当していました。

吉武　みなさんありがとうございました。では、どのようなきっかけで今の仕事を選ばれ、今どう感じているのかなど、お話しいただけますか。

髙橋　大学1年の基礎ゼミの授業だったと思いますが、西武信用金庫の職員を招いた講演があり、そこで西武信金が地域金融機関として、物産展や、企業同士をマッチングさせるビジネスフェアというイベントをやっていることを知りました。それを聞いて面白そうだと思いましたし、物産展なら食文化とのつながりもあるので、自分が学んだ分野が活かせるのではないかと思ったのがきっかけです。ほかには（3級）ファイナンシャル・プランニング技能士の資格対策講座を大学で受講し、経済学部や経営学部などとは違った角度から金融の仕事に携わったら面白いのかなと思い、就職活動に取り組みました。

鷹野（3級）ファイナンシャル・プランニング技能士の資格を取られたのですね。ほかの学生さんも資格取得に関心がありましたか。

髙橋　資格取得に前向きな学生は多かったと思います。就活に有利になると聞きますし、私の場合は情報処理技能検定も学生時代にサポートいただいて取得しましたので、どちらも日常業務や昇格に役立ちました。

鷹野　そうですか。資格が役立ったのですね。

田村　私は、高校で進路を決めるときに、福祉関係の仕事に就くと決めていました。祖母が認知症であったり、いとこに障害があったりしたのが、そう考えるようになったきっかけです。新卒でニチイ学館に入ったのは、まず福祉という業界を広く知るために、リーディングカンパニーである会社を選んだということです。ニチイでは広い視野で業界を見ることができたので、次は、福祉に対する自分の想いをより確固とした形にできる企業に行きたいと思って、転職しました。今の勤め先では高齢者施設がどんなものであるかを把握するために施設の現場に行き、そこで目上の方と話をして、業界での課題を教えていただいたりしています。

吉武　新しい職場では、何人くらいの方が働いているのですか。

田村　本部は40人くらいです。

吉武　なるほど、大きな会社だとトップとスタッフとの間に距離があるかもしれませんが、新しい勤務先では40人ほどの中に幹部もいらっしゃるから、田村さんからみてトップとの距離が近く、話もしやすいということですね。

田村　はい。それが、そこに転職した理由でもあります。

吉武　社会福祉法人への就職と聞いたときに、介護士になるというイメージがありますよね。介護士はエッセンシャルワーカーとして大切な職業ですが、一方で3Kといわれることもあります。です

が、日本全体ではさらに高齢化が進むので、今後もっと重要性が増すと思います。田村さんが就職された社会福祉法人はどのような施設を運営しているのですか。

田村　法人全体では介護施設、高齢者施設を運営しています。施設数は首都圏内に113あります。

吉武　ということは、介護士をするのではなく、そのたくさんある施設を運営しながら、戦略を練ったり法人全体のマネジメントをすることが、田村さんの仕事になってくるのですね。

田村　そうです。

吉武　なるほど。安達先生、いかがですか。

安達　私は中学時代の田村さんをよく知っていますが、田村さんが所属していたバドミントン部は強いですし、練習もハードでしたので、よく頑張って学業と両立されたと思います。今も高校で決めた道に向かって信念を貫いているのですね。当学院の生徒は、私が私が、と前に出るより、見た目はおとなしいけれど芯が強くて、田村さんのように誰かのためになることをしたり、自分の意志を貫くタイプの人が多いのですが、そこを改めて誇らしく思いました。

社会経験のある先生に聞いた 実体験に基づいたお話が役立っています

吉武　そうですか。では羽田さん、お願いします。

羽田　大学では障害児保育の授業が充実していて、障害のある子供とどう接するべきか学ぶ講義や、具体的なエピソードなど、保育士の経験がある先生や外部講師の話を聞く機会が多くありました。また、学生のうちに実際に障害児と関わる機会もあり、そうした経験が今の仕事で活かせています。

吉武　大学時代にどのような資格を取られたのですか？

羽田　幼稚園教諭と保育士の資格を取りました。

吉武　そうですか。児童学科はそのほかに小学校教諭と特別支援学校教諭を合わせた4つの資格が取れますよね。障害児保育の授業が役立ったということだから、資格を取る・取らないは別として、障害保育を専門とする先生がいて、科目があったことはよかったようですね。

羽田　はい。乳児や低年齢の子供は、障害があっても診断が出ていない場合があります。今の仕事では、そういう子供たちの支援をする必要があるので、とても役立っています。

吉武　児童学科では、資格を取るときに1つだけでなく、羽田さんのように2つ取る人も多いのですか。

羽田　はい、多いです。私が働いている認定こども園ですと、幼稚園教諭と保育士の両方の資格がないと担任になれなかったり、保育補助しかできなくて働きにくくなったりしますし、大学では2つの資格にそれぞれ必要な単位が重複していたりするので、やはり両方の資格を取る人が多かったです。

安達　いま保育園の需要が高まっていますよね。働くお母さんが増えていますし、コロナ禍とあって、保護者はお子さんの様子が気になると思います。保護者の方への対応はどのようにしているのですか。

羽田　保護者の方が気にされるのは、お子さんの様子に関することが多いです。たとえば家庭でお子さんの反応が薄い、無視するので困っているというご相談をいただいたことがあります。そのときは私から「園ではこのように振る舞っています」と、お子さんの様子を伝えると、ほっとされていました。

安達　頼りにされていますね。また羽田さんも子供のことが好きだし、保護者の対応・コミュニケーションに前向きなのでしょうね。私も子供がお世話になった保育園には感謝しかないですし、園があってこそ働ける人たちが大勢いるので、ぜひプライドを持って、お仕事に向かっていただきたいと思います。

羽田　ありがとうございます。

＊　＊　＊

吉武　卒業生の方同士で聞いてみたいことはありますか。

髙橋　田村さんにうかがいたいのですが、私がお客様同士の業務提携のお手伝いをさせていただく中で、福祉・介護業界で人手不足のために運営をうまく回せないというご相談が非常に多くあります。何か解決策はあるのでしょうか。

田村　人手不足はいま深刻で、やはりイメージがよくないので、業界に人が入ってこないことが問題になっています。その対応として、施設で働くスタッフのシフトの組み方を工夫していると聞きました。たとえば2交代制であったのを3交代制にするということです。今はコロナ禍で濃厚接触者になってしまい、一時的に働けない人が増えているのですが、1人がそうなって出勤できなくなったときに、2交代制より3交代制のほうが交代のスタッフを確保しやすいので。他の場合でも、それで働きやすくなるかもしれません。

吉武　それはとても大切な視点ですね。私は以前に鉄鋼会社に勤務していましたが、製鉄所の現場も昼夜2交代から3組3交代となり、現在は4組3交代となり、無理なく働けるようになりました。労働者に負担をかけるといい人が集まらないし、事故も起きると気がついたのです。働きやすい環境作りは企業にとっても大切ですね。

もうひとつは賃金の問題です。社会学者の上野千鶴子さんは、長い間、子供や親の世話や介護、つまりケア労働は女性がやるものとされていたと説明していました。お嫁さんが子供の世話や、お舅さん・お姑さんの介護をするのが当たり前だったから、それを外部化して保育園や高齢者施設に任せたとき、今まで家庭内で無償で賄っていた労働に高いお金は出せないということで、結果的に保育や介護に従事する人の賃金が上がらないんだと。私はそれが正しいのかどうかわかりませんが、日本のジェンダーギャップ指数は世界で120位ぐらいで、先進国の中では最低ランクです。それを解決するには、女性に集中しているケア労働を、男性や社会全体でシェアするとともに、ケア労働を職業とする人たちが充分な報酬を得て、誇りを持って働ける環境を作っていくことが必要だし、日本が強くなるための大事なポイントだと思います。子供や高齢者、あるいは障害をもった人たちに対するケア事業の確立は、今の日本にとても重要で、そういう意味で、田村さんと羽田さんは最前線にいるのだと思います。

＊　＊　＊

吉武　それでは皆さんにご自身のビジョンをお話しいただきたいと思います。今後、仕事や生活の中で何を大切にしていきたいか、お聞かせください。

髙橋　仕事については、商品開発担当として、お客様のニーズに合った商品を創造していくこと、もうひとつは、もともとまちづくり支援や企画に関わりたいという思いをもって、この信用金庫に入庫したので、今後はそれを実現していきたいと思います。ライフプランでは、自分の自信となることをさらに身につけていきたいです。多趣味なので生きている間に好きなことを全部やりきるくらい、ギネスブックに載るほど長生きしたいですね。

大学の充実した授業や環境が 自信のある自分に変わる転機になりました

吉武　今は非常にポジティブな方に見えますが、もともとはポジティブなほうではなかったのですか。

髙橋　なかったですね。中高時代はおとなしかったのですが、大学に入り、幅広い視野で物事を捉えられるように授業や環境が整えられていたことや、興味の幅を広げるような教育を受けられたことが転機となって、自分からあれをやってみようとか、これを達成したいから頑張ろう、と思えるようになりました。

吉武　それは興味深いですね。大学を転機としてポジティブになったと。授業や先生、友だちや課外活動の影響もあるかもしれませんが、何がいちばん大きかったですか。

髙橋　それらの積み重ねのほかに、成長記録としてポートフォリオをつけたことが大きかったと思います。以前はできなかった、こんなことができるようになったと可視化できますので。

吉武　なるほど。では田村さんどうですか。

田村　福祉の仕事はもちろんずっと続けていきたいですし、企画だけでなく、人事もやってみたいです。介護業界に入ってくる人たちを増やすために、戦略を立てて求人を出したりするのは意義があると思います。またライフプランとしては、祖母も母もずっと働いていたので、私ももし家庭を持ってもずっと働いて、家庭と仕事の両立ができるような女性になりたいと強く思っています。

吉武　介護業界の人材不足を打破したい、またワークライフバランスを考えたい、ということですね。羽田さんはいかがですか。

羽田　日々、子供たちと向き合う中で、課題として見えていることがあります。今私が働いているこども園は自由保育を大切にしていて、固定概念を植え付けることをしないんです。たとえば屋外にある竹でできた楽器なら、叩いて遊ぶと教えるのではなく、石を投げて音を出してもよく、子供たち自身が遊び方を見つけることを大事にしています。私はそれに感銘を受けてそこに勤めることになったのですが、自由と約束、あるいはルール・決まりとの区別がなかなか難しくて、子供たちに、その区別をどう伝えていくか

田村季恵さん
（たむら きえ）
東京家政学院中学校を経て同高等学校を2015年に卒業。明治学院大学社会学部社会福祉学科を経て介護業界へ。趣味は映画鑑賞。

髙橋知佳子さん
（たかはし ちかこ）
現代生活学部現代家政学科2016年卒。西武信用金庫に入社後、支店、事業支援部を経て業務企画部に勤務。趣味はロードバイク。

羽田美里さん
（はだ みさと）
現代生活学部児童学科2020年卒。認定こども園 正和幼稚園に勤務し、現在は3歳児の担任をしている。趣味はテーマパーク通い。

というのが個人的な課題になっていますし、周囲のキャリアのある先生も非常に悩んでいるところです。

数年後こうなりたいという具体的なビジョンはまだありませんが、子供たちが自分で遊びを発見していく姿はとてもキラキラしていますし、その成長を喜ぶ保護者の方を目にしたときも、うれしくて、やりがいを感じます。

仕事は続けることに意味があるので ずっと続けていってほしいと思います

吉武　大変なことはないですか。

羽田　やはり人対人の仕事なので悩みもありますが、ほかの先生と一緒に考えたり、相談することで助けられています。保育の仕事もかつては残業が多かったそうですが、一度、社会問題になって改善されたようで、今は働きやすいと感じています。

安達　三者三様に頑張っていらっしゃるのですね。みなさんが今も仕事を続けているということは、そこにこだわりやプライドなど、何らかの意味があったからだと思います。同じ仕事を何年もしていれば、必ず嫌なこともありますし、楽しいこともあるので、続けること自体に意味があるのではないでしょうか。長く続けていると、いい意味で、昔は見えなかったものが見えてくることがあります。10年前に悩んでいたことをあとから振り返ったときに、そこにも意味があったのかな、と思えます。ですから、若い方には転職をする・しないにかかわらず、やはり仕事はずっと続けていってほしいと思います。

＊　＊　＊

鷹野　卒業生のみなさんは、模索しつつも頑張っていらっしゃるようですね。大学が何かみなさんの力になれることはないでしょうか。私たちは今、リカレント教育として卒業生が大学で講座を受けられるような企画を思案していますので、みなさんのほうで何か学びたいことがあれば、ぜひ教えてください。

髙橋　私は大学時代のノートをときどき見返すのですが、そこでもうちょっと勉強したいと思うときがあります。例えば、江戸時代の再現レシピとかすごく面白いですし、再注目されてもいるので、大学でもう一度お話を聴けたら楽しそうだなと思ったりします。

中学・高校では少人数制だからこその 先生の目配りを実感できました

吉武　ほかのみなさんはいかがでしょう。学び直したいことはありますか。

田村　学生時代に学んでおけばよかったなと思うのは、お金に関することです。投資に関する知識など、金融にいらっしゃった方であれば基礎がありますが、私はその基礎がなくて。学生時代に学ぶことができたらよかったと思います。

鷹野　そうですか。今みなさんがおっしゃったご意見はぜひ活かしたいですね。

吉武　では東京家政学院に来てよかったなという思い出と、ここは変えてほしいという要望があれば、お話しください。

髙橋　先生との距離が近くて、わからないことを気軽に尋ねられるのがよかったです。学習以外でもカウンセリングを受け付けるなど、授業に限らずさまざまな出来事に対応する環境が整っていて、快適な学生生活が送れたと思います。会社に入ってからは家政学から金融の道に進んだことで畑違いと言われたこともありましたが、今ではそれをはね返せるくらいのスキルも身についたと思っています。

吉武　なるほどありがとうございます。何かエールを送ってもらったようでうれしいです。羽田さんはいかがですか。

羽田　児童学科だけかもしれませんが、大学でもクラスが決まっていて、クラス単位で授業を受けたり、行事に取り組めたことがよかったです。クラスメートはみんな資格取得を目指しているということで仲間意識があり、一体感が持てて、有意義な学生生活でした。

吉武　田村さんはいかがでしょう。

田村　中高で思い出に残っているのは行事です。とくに合唱祭は実行委員長として面白いプログラムにできないかと、生徒同士で話し合って作り上げたことが印象深いです。体育祭や文化祭も生徒主体で、夏休みを返上して準備するなど、まさに青春だったと思います。また、少人数制であることが自分の性格に合っていたと思います。大学受験に際しても、悩みごとやわからないことがあって職員室に行くと、すぐに話を聞いてくださるなど、少人数だからこそ先生がしっかり目配りをしてくださったと感じています。それと、KVA精神の大切さを社会に出てからも改めて感じています。

吉武　母校への要望などはありますか。

田村　中学時代はバドミントン部でしたが、当時は3クラスで人数がいたので、ライバル意識から「負けられない」という気持ちを持つようになりました。学校全体もある程度人数がいたほうが、覇気が出て、切磋琢磨につながるかもしれません。

吉武　では、安達先生、鷹野先生、学校を今後こうしていきたいというコメントをいただけますか。

安達　中学のほうは現在1クラスですが、田村さんが話されたように、競い合うことには私も賛成で、クラス増を目指しつつ少人数制のよさを活かして、中学・高校とも楽しく魅力ある学校にしていきたいと思います。注目しているのは、社会に出たときに自分の意見をきちんと伝えるスキルで、それは中学生から必要だと思います。今は生徒1人に1台タブレットがあるので、それを活用しながら、学習内容の発表に向けた資料作成やグループワークを行い、「伝えるスキル」を磨く指導に力を入れていきたいですね。

家政学をもっと広く捉えれば 地球規模の問題を解決に導けるはず

吉武　高校は2019年度からコース分けをされましたね。

安達　高校の方は「アドバンスト」と「リベラルアーツ」として、1年生からコース分けをしたカリキュラムになっています。また、進路は東京家政学院大学はもちろん、他大学への進学にも対応する教育を進めています。2022年度から高校は新カリキュラムになりますが、これまでの歴史も大切にしながら、素晴らしい先輩方に続く女性を育てていく教育方針をアピールしていきます。今日はいいヒントをたくさんいただき、応援していただいたような気持ちです。

吉武　鷹野先生はいかがですか。大学として。

鷹野　大学では良質な授業をしているし、先生方も素晴らしいのに、それが外部に伝わっていないことが最大の課題だと捉えています。今日も卒業生のみなさんから満足のいく教育であったとおっしゃっていただきましたので、そのよさをもっと外部に知らせ、本学のすばらしい教育を大勢の方に受けていただくために、頑張っていきたいと思っております。

吉武　ありがとうございます。では私から法人の理事長として今何を考えているか、お話ししたいと思います。今後は高校卒業後に大学入学を目指す人にとって魅力ある大学であるだけでなく、社会人のリカレント教育や生涯学習のニーズにも応えていきたいと思っています。卒業生のみなさんにとって東京家政学院は実家のようなものであり、先生や職員は家族のようなものです。私たちはいつでもみなさんを温かく迎えたいと思っています。

また、家政学が時流と合っていないと言われることがありますが、私は家政学を狭く捉えてはいけないと思います。SDGsの時代にあって地球規模の問題を解決するときに、行政や企業が策を講じるのと同様、生活者の視点から考えることも大事です。ゴミの問題、CO_2の問題、あるいは貧困にしても、われわれなら家政学を活用し、生活者の視点に立って解決策を導くことができるはずです。

東京大学の玄田有史先生という労働経済学者は、「希望」には4つの柱が必要と説いています。1つ目は「wish・こうありたいという思い」です。2つ目は「something・自分にとって大切な何か」です。本学院ならKVA精神かもしれません。3つ目は「come true・そのための道筋」です。そして4つ目は「action・行動」で、行動を起こさなければ希望は生まれません。今お話をうかがった皆さんは、「wish」「something」「come true」があって、「action」もされているので、きっと希望が見えているんだろうと、心強く思いました。しかし世の中にはそうでない人もたくさんいます。それを踏まえてみなさんには周囲をリードしながら、活躍していただきたいと思います。今日はこのような会を通じてみなさんから大いに勇気をいただきました。感謝申し上げます。

【2022年1月収録】

学校法人東京家政学院 理事長
吉武博通
（よしたけ ひろみち）
九州大学法学部を卒業後、新日本製鐵に入社。その後、筑波大学社会工学系教授・理事・副学長、東京都公立大学法人理事、大学改革支援・学位授与機構客員教授などを務め、2020年7月から学校法人東京家政学院理事長に着任。

東京家政学院高等学校・中学校 教頭
安達京子
（あだち きょうこ）
東京女子大学文理学部を卒業後、東京家政学院高等学校・中学校教諭（数学）に着任。2020年4月から東京家政学院高等学校・中学校教頭に就任。

東京家政学院大学 学長
鷹野景子
（たかの けいこ）
お茶の水女子大学理学部を卒業、お茶の水女子大学大学院理学研究科を修了後、お茶の水女子大学理学部助手に着任。その後、お茶の水女子大学教授・評議員・副学長などを務め、2021年4月から東京家政学院大学学長に着任。

東京家政学院から、この1年のニュースを皆さまにお届けします。

▼町田キャンパスの魅力を活かす 児童学科「森のようちえん」

皆さんは、町田キャンパスの裏に広がる森に入ったことはありますでしょうか。正門正面の階段を上がったところから、ぐるっと回ってゴルフ場側に下りてくる散策コースになっており、四季折々の自然を楽しむことができると同時に、ちょっとした冒険気分を味わうこともできる、とても魅力的な場所です。

そんな町田キャンパスの豊かな自然環境を活用し、児童学科ではおよそ月2回、土曜日に近隣地域在住の園児（年中）～小学3年生（約25名）を対象とした「森のようちえん」を実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス流行の影響を受け、中止の時期もありましたが、森に入った子ども達から自然と湧き上がる遊びを尊重しつつ、森の探検オリエンテーリングや、自分で切った笹を使った七夕祭り、焚火、そして森で見つけた自然物を使った工作…など、様々な野外活動を展開してきました。その企画・運営に当たっているのが、児童学科の学生達です。各回、主任となった学生が活動内容や環境設定、また他の学生達の動きを計画し、主導して運営しています。さらに、全体への一斉指導ではなく小グループでの活動形式をとっており、各班につく学生が安全管理をしつつ、子ども達の体験が深まるよう個々にサポートをしています。

「森のようちえん」は、子ども達に豊かな自然体験の場を提供し、心身の成長を促すことを目的に全国で多様な形で展開されている活動ですが、本学の場合は、大学キャンパスを活動フィールドに、自然保育の知識・技術をもった保育者養成の側面を大きく重視している点が特徴的な取組であると言えます。幼児・児童期の自然体験の重要性が叫ばれる現代社会において、時流に乗った取組だと感じています。特に、毎日通うキャンパスの中で活動することで身近な自然との距離が縮まり、将来、日常の保育活動に身近な自然を組み込む力が育つのではないかと期待しています。

本活動は、野外教育をご専門とする金子和正名誉教授が平成26年から始められた活動ですが、令和3年度から、同じく野外教育を専門とする後任の佐藤冬果（助教）が引き継ぎました。

今後の「森のようちえん」の活動にぜひご注目ください。

▼東京家政学院の学生が調べて、行って、食べた！「たべチヨダ」 QR1

▼「STAY Green Hill TERADA」～寺田で秋を感じよう～「URホームページ」「URインスタ」「タウンニュース」 QR2

▼「第15回 東京発！物産・逸品Webモール」学生取材協力「物産・逸品Webモールホームページ」「東京新聞」「西武信用金庫ホームページ」 QR3

▼令和3年度「千代田学」提案事業の採択について

千代田学は、千代田区が区内の各大学等を対象に、区と大学と地域の連携を推進し、区に関するさまざまな事象を学問として学ぶ試みを募集している取組となります。

本学は、千代田区キャンパスコンソーシアムの共同提案事業として人間栄養学科の酒井治子教授が、単独提案として加藤理津子准教授がこの取組に参画されています。

▼酒井治子教授の取組

千代田区の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ）を構成する5大学・2短期大学は、首都直下型地震やゲリラ豪雨などに備え、『大規模災害時における協力体制に関する基本協定』を千代田区と締結しています。令和3年度は酒井治子教授が幹事を務め、共同提案事業を進めています。令和3年12月には法政大学市ヶ谷キャンパスにて「帰宅困難者支援施設運営ゲームの体験会&学生ファシリテーター養成会」が実施され、人間栄養学科3年生、4年生の計4名が参加しました。災害食の備蓄の大切さと共に、一時滞在が長期化した場合の栄養管理について関心を高める機会となりました。活動の意義を多くの学生に伝え、防災意識の向上や人材育成に繋げていきます。

▼加藤理津子准教授の取組

令和元年度から「千代田区和食文化体験プラットホーム」の開発を進め、成果物としてホームページ「たべチヨダ（https://tabechiyoda.com/）」を立ち上げました。3年目となる今年度は、「たべチヨダ」を地域資源の循環に活用することを目指し、人間栄養学科4年生6名が千代田区内の4店舗と共同で新商品の開発を行い、レストランで提供するお茶請け、煎餅、どら焼きを作り上げました。また、新商品を使って併校の中学生に食レポ記事と商品デザインの作成を体験する機会を提供しました。デザイン画については環境に配慮した販促グッズとしてエコバッグの制作に活用しました。

QR1

▼「STAY in Green Hill TERADA ～寺田で秋を感じよう～」

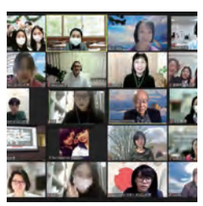
独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）との連携協力で、令和3年11月20日（土）、21日（日）に行われた八王子市のグリーンヒル寺田団地イベント「STAY in Green Hill TERADA ～寺田で秋を感じよう～」に児童学科学生12名と末松加奈助教が参加しました。団地と地域に住む幼児とその保護者を対象に、団地内のおひさま広場にあるキッズスペース「赤ちゃん広場」にて、絵本の読み聞かせや親子の遊びの援助を行いました。当日の様子はURホームページ、UR公式インスタグラム、タウンニュースで紹介されています。 QR2

▼「第15回 東京発！物産・逸品Webモール」学生取材協力

西武信用金庫・東京都商工会連合会主催「第15回東京発！物産・逸品Webモール」（令和3年6月16日（水）～12月31日（金）で開催）で、食物学科三澤ゼミの4年の学生が6月～7月にかけてオンラインで出展企業の取材を行い、取材記事がイベントの特設サイトに掲載されました。12月には同学科の岩本ゼミの3年の学生4名が企業に訪問して取材を行い、その様子が東京新聞（令和3年12月21日地域版）に掲載されました。また、西武信用金庫ホームページで、三澤ゼミ（食育研究会）が紹介されています。 QR3

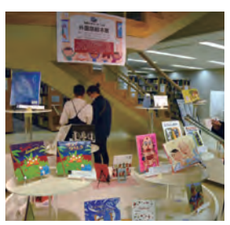
▼第15回 外国語スピーチコンテスト&クリスマスパーティ

令和3年12月4日（土）、国際交流センター主催の外国語スピーチコンテストを開催しました。今年は、海外協定校である釜山女子大学校（韓国）とタンロン大学（ベトナム）、吉林外国語大学（中国）をオンラインで繋いで、総勢149名が参加しました。31名の出場者は、それぞれ自分の母語以外でスピーチをし、その後クリスマスパーティを実施しました。



▼令和3年度 外国語絵本展

令和3年12月8日（水）～22日（水）、町田キャンパスと千代田三番町キャンパスの図書館で、国際交流センター主催の「外国語絵本展」を開催しました。今回も東京都板橋区にある、いたばしボローニャ子ども絵本館ご協力のもと、約100か国、70言語の海外の絵本から、児童学科の絵本研究会の学生たちが選んだ21か国の絵本を展示することができました。



▼令和3年度 東京家政学院大学教員表彰

東京家政学院大学では令和3年11月4日、令和3年度の教員表彰式を実施しました。

この教員表彰は、各教員の前年度の実績を基にして、学生の教育並びに教育方法の改善に積極的に取り組み、顕著な成果をあげ、特に高い評価を受けた教員を表彰する制度であり、今回の表彰対象者は、前年度の授業評価アンケートを基にして、高い評価を得られたことにより3名が選定されました。

表彰式では、鷹野学長から一人ひとりに表彰状、賞品目録が手渡された後、「今後も教育並びに教育方法の改善に積極的に取り組んでいただきたい」と励ましの言葉がかけられました。毎年表彰を行うことで、教員が一層モチベーションを高め、本学の教育活動の進展につながることが期待されます。

【受賞者からひと言】

▼吉永 早苗 教授（現代生活学部児童学科）

出欠確認と授業への動機付けで行った"音楽豆知識クイズ"に、学生から「誰かに話したくなる！」とコメントがあり、遠隔授業の励みになりました。

▼小池 孝子 教授（現代生活学部生活デザイン学科）

オンデマンド授業でしたが、住居に関わる身近な問題について考えるきっかけとなるよう課題を工夫し、学生もよく応えてくれました。

▼柳瀬 洋美 准教授（現代生活学部児童学科）

1年生の授業ということで、コロナ禍で不安な中、大学の授業は面白いと思ってもらえるよう頑張った授業でした。学生に喜んでもらえたことが何より嬉しいです。

▼小口悦子名誉教授に名誉フードスペシャリストの称号授与

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会より「名誉フードスペシャリスト」の表彰を受け、令和3年11月4日に鷹野景子学長から表彰状が授与されました。

この「名誉フードスペシャリスト」の称号は、食に関する専門的、総合的知識と技術を有し食品産業発展に貢献した者、並びに、食について明確なる情報を提供することにより国民の食生活の向上に顕著な功績をあげた人物に授与されます。

第名0204号

表彰状

（名誉フードスペシャリスト）

東京家政学院大学　名誉教授

小口 悦子 殿

あなたは食に関する専門的、総合的知識と技術を有し、食について的確なる情報を提供することにおいて顕著なる実績をあげられました。よってその栄誉を讃え、ここに表彰するとともに名誉フードスペシャリストの称号を与えます。

2021年7月21日

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

会長 青柳康夫

▼コロナ禍での大学入試

令和3年度の総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校、部活動・社会貢献活動継続者推薦）は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初予定していた対面方式から面談・面接を全てオンライン方式に切り替えての実施となりました。オンライン方式に慣れていない受験生でもスムーズに受験できるよう、事前に受験生、担当教員共に通信環境テストを行い、試験当日を迎えました。

また、来学方式の入試においても、マスクの着用、入退室時の手指消毒、座席間の距離の確保、試験室内の消毒、ドアを常時開放して換気を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じて安心・安全の環境を整えて臨みました。

▼ホームページのリニューアル

令和4年7月開設を目標に、法人、大学のホームページを一本化し、全面的なリニューアルを行います。

それに伴い、教職員で学院の魅力や今後の大学の在り方について議論を行いました。写真は検討ワークショップの様子です。7月以降にぜひ新しくなったホームページを覗いてみてください。

▼コロナ禍のオープンキャンパス

令和3年度のオープンキャンパスもコロナ禍での開催となりました。高校生からは現役の在学生の声が聞きたいという要望が多く出されるため、感染症対策を徹底し、学生スタッフが協力。キャンパスツアーをはじめ、学科ごとに在学生相談コーナーを設け、親身に相談に乗っている在学生の姿が印象的でした。オンラインのオープンキャンパスでは昨年に引き続き、在学生によるトークライブも配信し、キャンパスライフについてリアルな声が聴けると、好評を博しました。他にも、卒業研究についてオンラインでプレゼンするなど、在学生パワーに支えられた1年となりました。

▼大学案内制作風景

令和5年度の学生募集に向けて、大学案内を刷新しました。新しい大学案内では、令和5年度の学院創立100周年を前に、本学の校章をモチーフにした表紙を採用。100本以上のプリザーブドフラワーを組み合わせて、校章を再現しました。大学案内は、どの大学も似通った表紙になりがちですが、世界に一つしかない、本学のオリジナルの校章を全面に出すことで、インパクトのある表紙に仕上がりました。撮影時の薔薇は、オブジェとして多くの方にご覧頂けるよう、額装してキャンパスに納品されています。

▼第57回学園祭

令和3年11月13日（土）12時から、令和3年度第57回KVA祭を開催しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、学生、教職員、参加者等の健康と生命の安全を最優先に考え中止となりましたが、今年度は何としても開催をしたいという、学園祭実行委員の強い思いで、学院初の学内限定のオンライン開催（配信）となりました。

令和3年度のテーマは『Restart of KVA ～Smile flower Road～』。前年の学園祭中止から、新たなスタートを切り、多くの学生の笑顔の花道を広げてほしいという思いが込められました。

本学恒例のトークショーでは、現在、ドラマで活躍中の町田啓太氏が登場し、大学時代のエピソードや放送中のドラマの舞台裏などのトークを披露。その後、学生からの質問や相談に対して、一つ一つ丁寧に分かりやすくお答えくださいました。トークショー終了後には、オンライン抽選会を行い、実行委員が有名テーマパークのペアチケットの他、「おうち時間」を充実させる豪華景品を用意しました。

参加者からは「今年も中止になると思っていたけど開催いただき感謝している」「大好きな俳優さんが自分の大学のトークショーに出演してくださるなんて嬉しかった」「コロナ禍ではあるが充実した時間を過ごせた」などの声があり、実行委員会に感謝のメッセージが多く寄せられました。

▼集団模擬面接（対面）

令和5年に卒業予定の学生も、就職活動は対面とWebの併用が予測されます。企業は今後も併用で採用を続ける傾向にあり、学生は両方の対策をしていく必要があります。Web対応が増えた一方で、対面に不安を感じる学生は多く、感染対策に留意しながら対面で集団模擬面接を実施しました。実際の集団模擬面接を想定し、志望動機やガクチカ（学生時代に力を入れたこと）など、試験でよく聞かれる質問の受け答えの練習をしました。内容や話し方等についてフィードバックを行い、学生たちは自分の課題を見つけ、今後の就職活動に向け動き始めています。

▼学内証明写真撮影

千代田三番町キャンパスでは12月初旬に2日間、就職活動用の証明写真撮影を実施しました。就職活動で必ず提出する履歴書やエントリーシートの顔となる証明写真は、就職活動が本格化する3年生の3月までに余裕をもって準備をすることが大切です。撮影だけでなく、メイクもオプションでつけることができるので、就職活動用のメイクについても学ぶことができます。学内撮影ならではの低価格で、焼き増しも可能、Web提出に対応できるデータもついてきます。スーツの着用、髪型やメイクなどの準備が一度で済み、就職活動の負担を減らすことができるので就活生に好評です。

▼イルミネーション、クリスマスツリーの設置

毎年恒例の学友会主催クリスマスイルミネーションですが、これまでは町田キャンパスのみで実施してきましたが、今年は千代田三番町キャンパスでも実施しました。

町田キャンパスでは、正門周辺に青色を基調としたイルミネーションを設置、正門奥のエントランスにクリスマスツリーを設置しました。

千代田三番町キャンパスでは、学友会で毎年1号館エントランスホールに設置しているクリスマスツリーに合わせ、イルミネーションを設置しました。また、二七通り沿い花壇含め3箇所にイルミネーションを設置、中学クリスマスツリーも併せて購入し飾り付けを行いました。コロナ禍で気持ちが沈みがちの中、生徒、学生の歓声と笑顔を見て、温かいおすそ分けをいただくことができました。

▼大江スミ先生のお言葉カレンダーの作成

『こうして私の考える事を皆さんにお話しすると、皆さんがそれぞれの地方に帰って、周りの人やまた教壇から生徒に伝えてくださる。さらにその人達が多くの人に伝えて下さり広く広がって行くと信じております。』いつの時代にも役立つ大江スミ先生のお言葉を忘れないように、皆さんの目に触れるカレンダーとして平成29年から作成し今年で5年目を迎えることができました。光塩会、あづま会に配布し、また、あづま会事務局ご協力のもと中学校、高等学校の教室にも掲示しています。

▼給与支給明細書等の電子化について

本学では令和3年7月給与から、紙媒体の削減、教職員に対するサービスの向上及び印刷・仕訳・配布にかかる経費等の削減から、給与明細書等がWebで閲覧できるようになりました。その他にも、賞与明細書、源泉徴収票の閲覧や、年末調整の電子化も進み、パソコン、スマートフォン、携帯電話から閲覧・入力ができるようになりました。

▼東京家政学院中学校・高等学校　部活動実績

令和3年度、東京家政学院中学校・高等学校では、高校バドミントン部、中学バドミントン部が関東大会出場、高校ソングリーダー部が全国大会出場といった輝かしい成績を納めました。

【顧問の先生からのメッセージ】

▼時田浩行先生（高校バドミントン部顧問）

今年度は新型コロナ禍の影響で参加人数などの制限はありますが、無事に公式戦が行われました。4月に関東大会予選で東京都4位になり、6月に茨城で行われた関東大会に出場しました。結果は初戦を突破し、2回戦で敗退しました。関東大会出場は今回で3回目ですが、初めて勝利を挙げることができ、バドミントン部の歴史に新たなページを加えることができたと思います。今後ともご声援のほど、よろしくお願いいたします。

▼鷹谷恵子先生（中学バドミントン部顧問）

中学バドミントン部は、現在15名の部員を擁しています。毎日高校生と一緒に練習しており、めきめき腕を上げています。夏の選手権大会では千代田区の大会、ブロック大会を勝ち抜き、東京都大会で上位に入賞し、千葉市で行われた関東大会に出場を果たしました。昨年度はほとんどの大会が中止でしたので、生徒たちはモチベーションを維持するのに苦労しました。今年度、最初から関東大会まで進出することができたことは大変よかったと思います。

▼高橋祥乃先生（高校ソングリーダー部顧問）

制限された練習の中、時間の使い方が上手くなり質の高い練習ができるようになったと感じます。6月の大会では完成度が足りない自覚があり、あと一歩のところで全国大会を逃しました。その後は練習内容を見直し声掛けも増え、雰囲気が大きく変化したことを覚えています。技や体力の向上はもちろん、お互いを感じる姿勢ができ、11月の大会では部門2位で全国大会への進出を掴みました。次の目標は全国大会での入賞です。夢の舞台で目標達成し、生徒の嬉し泣きが見られることを信じています。

▼第57回 常磐祭 第一部体育祭

令和3年9月14日・15日に常磐祭第一部・中高体育祭を学年別で開催しました。高校体育委員会で新型コロナウイルス感染防止対策を講じた競技を考えるなど企画や運営を行い、工夫を凝らした競技にどの学年も白熱し、高校3年生の「荒城の月」ではボルテージが最高潮に。コロナ禍での縮小開催でしたが、準備や練習期間を含め、生徒が主体的に行動し成長できた行事となりました。

▼第57回 常磐祭 第二部文化祭

令和3年10月3日に常磐祭第二部・中高文化祭を開催しました。文化祭では学年ごとの展示やクラス単位での模擬店、中高各クラブの発表を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響により、当日の来場者を制限し、クラブ発表も事前に撮った動画にしたりと、例年と異なる点が多くありましたが、天候にも恵まれ当日のトラブルもなく終えることができました。

ギャラリー CAMPUS GALLERY 2022

Spring

コロナ禍の高校卒業式

コロナ禍の大学卒業式

大学入学式後に
クラスミーティングへ

コロナ禍の大学入学式

大学卒業式後に皆で集合！

Summer

大学の授業で浴衣制作

高校遠足！
マザー牧場でジャンプ

2年振りに恒例のセタ飾りを実施！
集まった短冊は全部で201枚

中学遠足！ソレイユの丘
にて集合写真

流れ星が落ちたとされる
「星尾神社」のセタ祈願祭で
お焚き上げ

大学の授業で
校内の自然物を採集

Autumn

大学の授業で作った
ジャックオランタン★

町田キャンパスの紅葉

ハロウィンに大学のゼミで
作ったスイートポテト

第一ホテル東京シーフォートにて
高校生へのテーブルマナー

UR都市機構主催
「STAY in Green Hill TERADA」に参加

千代田三番町キャンパスの
クリスマスイルミネーション

町田キャンパスの
クリスマスイルミネーション

町田キャンパスの
クリスマスイルミネーション！

大学の授業で作った
クリスマススイーツ

Winter

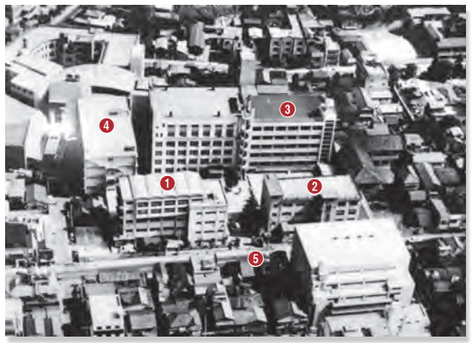
大学のスキー教室

大学の実習で作ったクリスマス料理

今昔写真館

千代田三番町キャンパス

航空写真（現在）



航空写真（1960～1970年頃）

❶1号館 大学（旧4号館 短大）❷2号館 中学（旧3号館 中学）❸3号館 高校（旧6号館 高校）❹体育館（旧5号館 大学）❺正門

❶1号館 大学（現在）

❶旧4号館 短大（現1号館場所）（1960～1970年頃）

❹旧5号館 大学（現体育館場所）（1960～1970年頃）

❹体育館（現在）

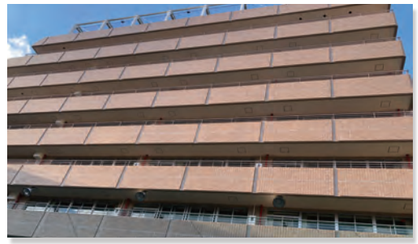
❷2号館 中学（現在）

❷旧3号館 中学（現2号館場所）（1960～1970年頃）

大江スミ像（現在）

大江スミ像（1960～1970年頃）

❸旧6号館 高校（現3号館）（1960～1970年頃）



❸3号館 高校（現在）

❺正門（1960～1970年頃）

❺正門（現在）

学生生活

授業風景 着付（現在）

授業風景 着付（1931年）

授業風景 割烹（1931年）

授業風景 園芸（現在）

授業風景 園芸（1931年）

授業風景 調理実習（現在）

高校修学旅行 錦帯橋（現在）

高校卒業旅行 富士五湖（1942年）

東京家政学院大学 2023年度 入試日程

2023年度入試については、諸般の情勢により変更となる場合があります。その際は随時本学ホームページでお知らせします。

入試種別	総合型選抜 探Q入試［自己探究型］	総合型選抜 探Q入試［学び探究型］	総合型選抜 探Q入試［課題探究型・探究活動報告型］				総合型選抜 KVAスカラシップ入試
			Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	
出願期間 ※1	10月14日(金)～10月21日(金)	10月14日(金)～10月21日(金)	10月14日(金)～10月21日(金)	10月26日(水)～11月4日(金)	11月24日(木)～12月2日(金)	3月1日(水)～3月9日(木)	11月14日(月)～12月1日(木) 窓口:12月2日(金)※2
試験日	別に定められた出願前の面談日（※総合型選抜は別途定められたエントリー期間のエントリーが必須です。詳細は大学案内2023入試ガイドをご覧ください。）						12月10日(土)

入試種別	学校推薦型選抜		一般選抜			大学入学共通テスト利用選抜	
	Ⅰ期	Ⅱ期	A方式Ⅰ期	A方式Ⅱ期	B方式	Ⅰ期	Ⅱ期
出願期間 ※1	11月1日(火)～11月14日(月) 窓口:11月15日(火)※2	11月21日(月)～12月6日(火) 窓口:12月7日(水)※2	12月15日(木)～1月11日(水)※4 窓口:1月12日(木)※2	12月15日(木)～1月20日(金)※4 窓口:1月23日(月)※2	2月14日(火)～3月2日(木) 窓口:3月3日(金)※2	1月16日(月)～1月25日(水) 窓口:1月26日(木)※2	1月16日(月)～3月6日(月) 窓口:3月7日(火)※2
試験日	11月26日(土)	12月17日(土)	1月21日(土)	2月1日(水)	3月9日(木)	大学入学共通テスト 1月14日(土)、15日(日)	

入試種別	特別選抜試験［社会人・海外帰国子女］		私費外国人留学生試験		編入学試験・学士入学試験	
	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅰ期	Ⅱ期
出願期間 ※1	11月1日(火)～11月8日(火) 窓口:11月9日(水)※2	2月1日(水)～2月9日(木) 窓口:2月10日(金)※2	10月11日(火)～10月19日(水) 窓口:上記期間中 ※3	1月16日(月)～1月25日(水) 窓口:上記期間中 ※3	11月1日(火)～11月8日(火) 窓口:11月9日(水)※2	2月1日(水)～2月9日(木) 窓口:2月10日(金)※2
試験日	11月19日(土)	2月24日(金)	11月19日(土)	2月24日(金)	11月19日(土)	2月24日(金)

※1　出願期間は、郵送での受付期間（最終日の消印有効）を表します。
※2　窓口受付は、千代田三番町、町田の両キャンパス（10:00～15:00）で行います。
※3　私費外国人留学生試験の窓口受付は、郵送出願期間中（土・日曜、祝日および本学の入学試験日を除く）の千代田三番町、町田の両キャンパス（10:00～15:00）で行います。
※4　12月26日（月）～1月5日（木）は冬季休業期間のため、入試に関するお問い合わせ等はできません。

東京家政学院大学 2023年度 オープンキャンパス日程

開催時間：10:00～15:00　※入退場自由
開催場所：「現代家政学科／人間栄養学科」は**千代田三番町キャンパス**、「生活デザイン学科／食物学科／児童学科」は**町田キャンパス**

●オンライン型

対象学科	全学科対象
開催場所	特設Zoomアカウント
1	5月15日(日)

●来学型

対象学科	現代家政学科／人間栄養学科	生活デザイン学科／食物学科／児童学科
開催場所	千代田三番町キャンパス（東京都千代田区三番町22）	町田キャンパス（東京都町田市相原町2600）
1	3月20日(日)	3月27日(日)
2	6月12日(日)	6月 5日(日)
3	7月10日(日)	7月10日(日)
4	7月30日(土)	8月 7日(日)
5	7月31日(日)	8月20日(土)
6	11月 3日(木祝)	10月30日(日)
7	3月21日(火祝)	3月26日(日)

お問い合わせ先　東京家政学院大学 アドミッションオフィス
〒194-0292　東京都町田市相原町2600番地　TEL 042-782-9411　FAX 042-782-1711　E-mail nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院中学校・高等学校 2023年度 校内説明会日程

開催場所：千代田三番町キャンパス

●東京家政学院中学校

	日時		内容
1	4月29日(金・祝)	10:00	第1回学校説明会
2	6月 5日(日)	10:00	第2回学校説明会
3	7月17日(日)	10:00	第3回学校説明会
4	8月26日(金)	10:00	第4回学校説明会
5	9月19日(月・祝)	10:00	第5回学校説明会
6	10月23日(日)	10:00	第1回入試対策説明会～入試に役立つ授業体験～
7	11月12日(土)	14:00	第2回入試対策説明会～過去問解説～
8	11月18日(金)～	16:00	Web適性検査型入試対策
9	11月27日(日)	10:00	第3回入試対策説明会～入試体験～
10	12月11日(日)	10:00	第4回入試対策説明会～入試個別アドバイス～
11	12月18日(日)	10:00	5年生以下対象クリスマスイベント
12	1月 8日(日)	10:00	第5回入試対策説明会～入試直前アドバイス～
13	1月14日(土)	10:00	適性検査型入試対策・新タイプ入試対策
14	2月26日(日)	10:00	5年生以下対象体験イベント

●東京家政学院高等学校

	日時		内容
1	6月24日(金)～	15:00	Web学校説明会
2	7月24日(日)	10:00	高大連携説明会
3	8月27日(土)	10:00	オープンスクール（体験型）
4	9月18日(日)	10:00	オープンスクール（体験型）
5	10月29日(土)	10:00	授業見学会
6	11月 5日(土)	14:00	キャリア＆進路指導説明会
7	12月 3日(土)	14:00	入試相談会
8	12月10日(土)	14:00	入試相談会

※ 説明会は全てWeb予約が必要となります。
※ 入試日程はホームページでご覧ください。

お問い合わせ先　東京家政学院中学校・高等学校 入試事務室
TEL 03-3262-2559（入試専用ダイヤル）　FAX 03-3262-2223　URL https://www.kasei-gakuin.ed.jp

卒業生 WHO'S WHO

社会で活躍している卒業生に、建学の精神を今どのように感じているかインタビューしました。

多様な視点を育むKVAは、私がめざす家庭科教育そのものです

現代生活学部 現代家政学科卒業
増田 友香さん
東京家政学院大学 大学院人間生活学研究科 家政学専攻
県立高等学校／家庭科 非常勤講師

社会に出て、物事を一面ではなく多様な視点から考察できるようになったとき、KVA精神が活かされていると感じました。多様な視点は、知識だけ、技術だけ、徳性だけが備わっていても得られません。いま教育者として「問題の答えはひとつとは限らない」ことを伝えられるように授業に取り組んでいます。私にとってKVA精神は、生きるうえでの指標となるもの。知識、技術、徳性、すべてを備えることで日々は充実し、より豊かな徳性が育まれるのだと思います。

知識と技術の土台があるからこそ、人間性も磨かれました

現代生活学部 生活デザイン学科卒業
森 千尋さん
積水ハウス株式会社／建築課

大学の4年間を通して、先生方からの丁寧な指導によって知識と技術を身につけることができました。そのうえで人間性は、さまざまな個性を持った学生との出会いやかかわりの中で磨かれていった気がします。建築士として働くいま、特に人間性は、多くのお客様の思いに寄り添いながら業務を進めるうえで、とても大切なものであると実感しています。これからもKVA精神を忘れることなく、知識と技術の土台のうえに、確かな人間性を築いていきたいと思います。

KVAは私にとって、成長のバロメーターになるものです

現代生活学部 児童学科卒業
荒井 志穂さん
府中わかば幼稚園／幼稚園教諭

学生だった頃、KVA精神は資格や免許を取得するために必要な知識と技術の大切さを教えてくれる言葉でした。でも卒業して、幼稚園教諭として働き始めると、多くの場面でKVAの大切さを実感するようになりました。特に人間性は、さまざまな個性を持つ子どもと向き合うときや、先生や保護者とコミュニケーションを取るうえで、最も大切なものだと思います。知識と技術だけでなく、人間性をさらに高めて、教諭として成長していきたいです。

人間性をまん中に、知識と技術を高めて充実した日々を

家政学部 家政学科卒業
田中 由美子さん
国立病院機構信州上田医療センター／病院管理栄養士

KVA精神の知識と技術は、自分一人でも高めることができるかもしれませんが、まん中の徳性は、人と人とのふれあいの中で養われるものだと思います。大学生活で培ったVをまん中に、授業や実習で身につけたKとAを両手に持って就職し、仕事と家庭を両立して日々過ごしています。病院管理栄養士として部下を指導・育成する際も、知識や技術だけでなく、人間性を磨いていける環境づくりを大切にしているのは、根底にKVA精神が宿っているからだと思います。

KVA 学院だより 2022.4 No.152
発行 学校法人東京家政学院 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地 TEL:03-3262-2251(代) FAX.03-3262-2174 URL https://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

「東京家政学院創立100周年記念募金」のお願い

学校法人東京家政学院 理事長 吉武博通

日頃から東京家政学院をご支援いただいております皆様のご厚情に、心より感謝申し上げます。

本学院は、2023年に創立100周年を迎えます。この度、創立100周年の後の学院の将来を見すえて、各キャンパスの教育研究環境をさらに整備する予定です。

また、学生が安心して学べるための新たな奨学金制度も視野にいれさらなる学院の発展を期して、「東京家政学院創立100周年記念募金」を行っております。

引き続き、学院へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金募集概要

募金名称	東京家政学院創立100周年記念募金
募金目標額	3億円
受付期間	平成27年（2015年）6月～令和5年（2023年）5月末日
寄付の額	個人　一口3千円 ※一口未満のご寄付につきましても有り難く頂戴いたします。

お問い合わせ先・お申し込み先

学校法人東京家政学院 募金事務局
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地　TEL:03-3262-2242　FAX:03-3262-2271
E-mail : bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院創立90周年記念募金にご寄付いただきありがとうございました。

創立90周年記念事業では、町田キャンパスKVAショップ（コンビニ）・食堂・喫茶コーナー整備、ローズコート整備、植栽プランター設置、千代田三番町キャンパスローズホールのペンダント照明設置、「子供のための音楽教室」の記念碑設置、KVA会館の改修、学校発祥の地記念石碑設置、トイレ改修、記念誌「写真でつづる学院の歩み」の作成、「大江スミの生涯」のDVD制作、キャンパスソング「前へ まえへ」制作、中学・高等学校のキャリアサポートセンター設置などに役立てられました。その節は多数の皆様方からご協力、ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

KVAショップ（コンビニ）設置
（町田キャンパス）

ローズホールのペンダント照明設置
（千代田三番町キャンパス）

キャリアサポートセンター設置
（中学・高等学校）

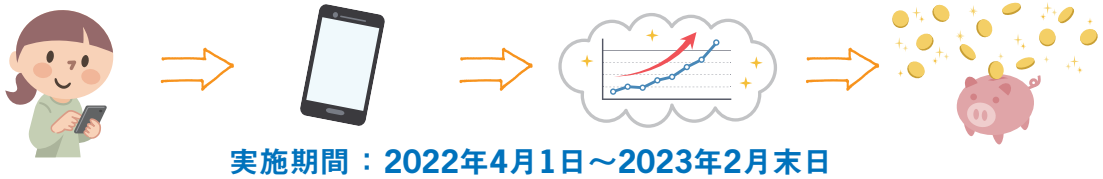
アクセス募金 はじめました。

～東京家政学院のWEBサイトを通じて、同窓生に貢献します～

こちらの二次元バーコードもしくは短縮URLから東京家政学院のWEBサイトへアクセスしていただくと、みなさまに代わって、1アクセス※10円を「光塩会・あづま会」へ募金いたします。

xink.jp/kva/152

※おひとりさま1日1アクセスのみ有効です。結果は次号にてご報告いたします。



実施期間：2022年4月1日～2023年2月末日

©2022 TOKYO KASEI GAKUIN All Right Reserved.